

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 —「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地： 神奈川

グループ： 1班

2024.10.12

AIと共存

～誤情報・偽情報とともに～

AIと共存

①



既存の文化
力が乏

日本人は
対話に弱い
→ 話し合いが
進まない

社会と断絶

AIの解答を
のみにせしめ
会話相手としての
使い方を

・教育プログラムに学習が
込む(現場での使い方)

大に使い方を開く
→ 高校生にも
シカセる使い方が
ある!

②

4-10の年次制はGPTを
6-10を6-7年次、11-12を
11-12年次に分けてみる

AI
インテリジェンス
の進化

学習力への影響

ネット上では
現実世界で
送し合う

インテリジェンスの
誤りの選別

・日本人に
デジタルの
機会を
与える
→ 教える

カンパニイ
インテリジェンス
の進化

ガイドライン作成
or
制限

AI GPTが
どう判断?

GPT-4 (2023)
GPT-4.5 (2024)
GPT-5 (2025)
GPT-6 (2026)
GPT-7 (2027)
GPT-8 (2028)
GPT-9 (2029)
GPT-10 (2030)

デジタルする。
→ 反論と
自然と
耐性を見
出す

AIの
倫理観が
どうなる

価値観の固定
に対するAIの
使い方

毎日のニュースを
一行でまとめる。

子供の考え方に
支障が出る
偏りが出る

提言

制限

はじめに

- ・生成AIの使い方

私たち→学習手段、スライド作成、AI彼氏・彼女

社会人→仕事やアイデア、統計的な推測

誤情報の作成・拡散の理由

承認欲求、悪ふざけ、正義感、いいね稼ぎ

- ・現在でも企業側が様々な対策をとっているが、
私たちは別の対策を考えました！

提言

新教育プログラムの導入

プログラム内容

- ・生成AIの活用の講習

→実社会人を招き、現場での使い方・使い道を学ぶ
対話の機会を設ける

- ・対論する機会を増やす授業計画をたてる

→情報と向き合う力をつける。

様々な意見からから多角的な視野を身に着ける

提言

法律の作成

法律内容

・ガイドラインと規制

法律による年齢制限によって、小中学生の思考力をはぐくむ機会を守る

ガイドラインを作成し大きな使用法の基盤を作ることによって誤情報によって混乱しない社会を作る

まとめ

- ・私たちと社会とでの使い方の差を埋めることが 大切
 - ・かならずAIとは共存する社会になる
- 活用方法や、ガイドラインを作成することによって誤
情報・偽情報によって混乱しにくい社会へ

生成AI 使い方

- ・授業 数学 勉強
- ・環境 AIを先生が作った 調べ学習
- ・生成AI活用ゼミ研究
(AI使用で思考力などどんな影響があるか)
- ・文化祭広報(ポスター作り)
- ・言語の勉強 話し相手
- ・AI彼氏
- ・コミュニケーション

生成AIの使い方

○勉強

授業 自習 質問 画像生成 いらすとやのような著作権フリーの素材

○コミュニケーション

・AI彼氏 ペットロボ 話し相手

○インタビュー！

- ・ユーザからの問い合わせ対応 論点、感情の整理(要約)
- ・プレゼン資料作り 書き出したアイデアの整理 思考のヒント
- ・アイデア出し、選定 例)この条件で考えられるヒントを○個出して！
- ・アイデア原案、壁打ち
- ・数値目標
- ・課題に対する論点整理、膨らませ(出てきたものをそのまま使うことはしない)

生成AI使い方②

具象化

物事を客観的に見る

効率化

生成AI

- ・使っちゃダメ！ 学習の邪魔になる認識 使うと罪!?
 - ・そもそも使わない
 - ・人と話すことを断絶
 - ・AIの同調による殺害未遂
 - ・考えなくなっちゃう
 - ・正しいが故に伝え方がたんぱく
-
- ・AIを活用して仕上げた課題を新しい形として受け入れるしかなくなる(デメリット?)
 - ・大学受験で科目:情報
 - ・ディスカッション相手 話し相手
 - ・情報源多 → 信頼性高め
 - ・授業アシスタントとして使用することで先生の負担減(別スライド)

AIをアシスタントとすると

- ・知識系授業は代替可能？
- ・先生から受ける授業ならではの豆知識がなくなる
 - 効率化にもなるが、+a知識が得られなくなる
- ・どの知識が役立つのかははっきりわからない
- ・めちゃくちゃ効率化

- ・機械音声による人件費削減(教材の音読音源録音、バス電車の放送)
- ・プログラミング講座がいらなくなる！？(HTML、CSS、Javaはコードを出してくれる)
- ・たまに間違ってる

AIによる誤情報

- ・コメントにAIが紛れ込んでくる可能性
- ・詳しく指定しないと間違った情報？
- ・Youtube自動音声動画のイントネーション
例)秋田犬が秋田県、音読みを訓読みで読んでる → ちょっと気持ち悪い
- ・外国人っぽい？ 英語はリスニングの音源っぽい(ChatGPT)

偽情報・なぜ作られる

- ・大きな震災の時 人を惑わすのが楽しくて
拡散 いいね稼ぎ 承認欲求
- ・娯楽 悪意 面白いから おふざけ

偽情報・なぜ拡散される

- ・デマと気づかない
- ・災害がひどいことを広めたい 正義感
- ・おふざけ半分 娯楽
- ・正誤がわからないまま拡散
 - 正しいか調べるのがめんどくさい、いつか誰かが指摘するだろう(責任感の欠如)

偽情報・いつ気づく

- ・背景と人物の違和感(画像)
- ・口コミで見た
- ・元の画像と照らし合わせる → 一番わかりやすいけどめんどくさい！
- ・自分の知識
- ・見分けるツール 例)ChatGPTが書いたかどうか判別できる

- ・気づきにくい!(進化によりボロがわかりづらくなった)

誤情報偽情報を超えて活用

- ・ソースを明記する
- ・学習させる情報を管理する職業
- ・共存 受け入れる → 活用方法 受け入れない選択肢がない？
- ・危険性に注意する → 意識を持つ程度しかできない？

自分の意見を自ら否定されに行かない、間違い、危険性に気づけないので ...

- ・AIに倫理観がない？ ・ネットじゃないところで活用する
- ・アルゴリズム(システム内設定?)を活用する、「自分の世界が正しくて強い(マジョリティ)」認識防止
→フィルタリング無効、興味があるわけじゃないものも表示する → 目に入るだけでも違う！
- ・興味がある分野以外の情報も強制的に見るシステム
- ・対話と対論は違う！(過程を大切に) ディベートの機会を増やす 話し続ける体力
- ・いやだから見ない！の意識改革(なんでこれが嫌なのかなどを考える)をする
- ・

誤情報偽情報を超えて活用②

- ・価値観の固定やマジョリティに対抗するAI
- ・新しい物は人間にしか生み出せない → AIっぽい
- ・AIが生成したものの著作権侵害をフィルタリングするAI 矛盾？ 人間なしで解決できてしまう
- ・人間優勢

- ・自分たちが正誤を見分けられることが前提
- ・目には目を歯には歯を AIにはAIで対策
- ・

高校生ができること

必要なこと・社会での使われ方を知る

- ・小さい時からかかわるのはよくない？ 規制する？ 子供用KidsGPTみたいなものを作る？

- ・

- ・近隣、卒業した小学校に行って、ChatGPT(や、もし新しいのを作ったらKidsGPT)の使い方 の授業をしに行く。

- ・社会見学などに行ったときに企業の人にAiの使い方を聞きに行く。

- ・流出の不安(質問した内容とか) → データとしては残る？続けて似た質問をすると
- ・AI崩壊 → AIが管理する世界でメインのAIが止まる

情報の授業

- ・あるところとないところ
(家庭科でやったり...)
- ・授業アシスタントとしてAI(先生作、授業にかかわることしかきけない)